

Sunshine 教科書の登場人物を使ったアウトプット活動(スピーキング, ライティング)

上智大学文学部英文学科・愛知淑徳大学交流文化学部非常勤講師 北原延晃

はじめに

令和3年度より学習指導要領が全面改訂されました。外国語(英語)科では日本の英語教育史上最大の改訂が行われました。改訂の大きな柱の一つが、「話すこと」という技能が「やり取り」「発表」という二つの領域に分かれたことです。話す内容の原稿を前もって書いておくというそれまでのスピーキング指導の反省として「即興性」が重視されたのです。あらかじめ原稿を書いてからそれを覚えて話すという従来の活動では、実際のコミュニケーション場面では役に立たないからです。そのため令和3年度から使用される教科書では即興発話を随所で行う作りになっています。新しい Sunshine ではプログラムの各セクションで Story Reproduction [Story Retelling] という活動を行うようになりました。Story Reproduction は本文の英語を絵やメモなどを使って再生させる活動であり、Story Retelling は情報を取捨選択して、そこに自分の考えや意見などを含める活動です。

相手との双方向の即興対話は相手が出たことを受け止めて自分の応答を返すため、即時性が求められる高度な活動です。それに対してモノローグによる即興発話は自分のペースで話せるため、比較的容易にできます。教科書本文を再生させる活動では学習した語彙や音読して頭に残っているフレーズなどを使えるため、さらに難易度は低くなります。しかし、教科書本文のトピックには身近なものから自分がよく知らないものまでがあります。そこで1年生の頃から親しんできた登場人物について話す活動を日々の授業で行うことによって負担をさらに下げることができます。ここでは私が赤坂中学校ですべて行っていた登場人物紹介をご紹介します。

1 授業での展開例

『英語授業の「幹」をつくる本 上巻』(北原延晃著 2010年 ベネッセコーポレーション) 第8章 第3節「ピクチャーカードを使った Q&A」から抜粋します。

1,2年生に対しては、教科書の本文内容をオーラルイントロダクションで説明する前に、ピクチャーカードを使って Q&A を行っている。

たとえば教科書のキャラクターについての例をあげてみる。

●1年生用

T: Who is this girl?

S: Kumi.

T: OK. Where is she from?

S: From Japan.

1年生はこのようにコーラスで short answer で答えてよい。

●2年生用

T: Who is this girl?

S1: She is Kumi.

T: OK. Where is she from?

S2: She is from Japan.

T: Good. Any other information about Kumi?

S3: Ken is her classmate.

S4: She knows soft tennis.

S5: Her family name is Tanaka.

2年生はこのように個人で手をあげてフルセンテンスで答えるようにしている。教師の質問に答えるだけでなく、自分が知っているキャラクターについて積極的に自由に話すことができる。これは英検3級2次試験対策にもなっている。

次にあげるのは、New Crown 1年の教科書に出てくる登場人物とその行動をまとめたものである。生徒に配布し、生徒はそれを見て登場人物がしたことなどを思い出しながらスピーキング活動を行う。また生徒は、自学として家庭でライティングノート（下巻で詳述）にどんどん書く。定期テストで「加藤健について知っていることを書きなさい」という問題を出題することもある。

（註 この後に当時使用していた教科書の登場人物一覧表が続くが、割愛する）

2 授業でのスピーキング活動

新Sunshineの登場人物のうち、真央について見てみましょう。以下は登場人物一覧表からの抜粋です。

Sunshine 1年の登場人物たち		
授業でしゃべって、家でライティングノートに書いてみよう。		
真央		
ページ	カテゴリー	内容
0	姓名	姓(family name, last name)は古瀬
0	国籍	日本
0	居住地	4月に引っ越してきた
0	趣味	絵を描くこと
0	性格	天真爛漫(形容詞innocent)
24	居住地	日本。みらい市(Mirai City)出身ではない。
25	立場	みらい中学校1年生。1-Bの生徒。
32	特技	毎日絵を描く。
43	行動	Japanese dancer, EBIKENを知っている。
43	行動	盆踊りを踊れる(can do bon dance)。
56	行動	ふだんは(usually)墨汁(bokuju)を使う。
64	行動	おじいさんは平日(on weekdays)道路に立つ。

1と同じようにQ&Aをやってみます。

T: Everyone, stand up. Who is this girl?

S1: She is Mao.

T: ピンポーン (音) OK. You can sit down. Where is she from?

S2: She is from Japan.

T: ピンポーン (音) Good. Sit down. Any other information about Mao?

(ここで生徒は事前に配布された上の登場人物一覧表を見て答えてもよい)

S3: Her family name is Furuse. ピンポーン (音) 生徒は座る。

S4: She came to this town in April. ピンポーン (音) 生徒は座る。

S5: She draw picture every day. ブー (音) 生徒は座れない。

T: Close! Chance!

S6: She draw pictures every day. ブー (音) 生徒は座れない。

T: Chance!

S7: She draws pictures every day. ピンポーン (音) 生徒は座る。

*授業の動画が『英語授業の「幹」をつくる本 授業映像編』(北原延晃著 2014年 ベネッセコーポレーション)にあります。参照してください。

*2,3年生は文構造が複雑になるため、「内容」欄に日英語が混在しないように、難しい初出の内容語については「ヒント」欄に掲載しました。

Sunshine 2年の登場人物たち			
授業でしゃべって、家でライティングノートに書いてみよう。			
真央			
ページ	カテゴリー	内容	ヒント
10	行動	美希のためにさよならパーティーを計画している。	(plan) (a farewell party)
32	行動	地域のお祭りにやってきた。	(a local festival)
32	行動	アメリカンドッグが食べたい。	
32	行動	wata-ameがアメリカから来たことを知らなかった。	
33	行動	よだれが出そう。	(water)
34	行動	オランダのハーリングを発表する。	(present) (Dutch) (haring)
34	行動	屋台料理はその国の食文化を表していると思う。	(street food)
63	行動	病院で働いた。	
63	行動	すべてが新しかった。	
63	行動	待合室でおじいさんを見た。	(the waiting room)
63	行動	話しかけることを決めた	(decided to) (speak to)
63	行動	ただ話をよく聞いてあげようとした。	(tried to) (a good listener)

63	行動	行動を起こすことが大事だとわかった。	(take action)
93	行動	家に帰ったらスピーチの宿題をする予定。	(get home)
102	行動	広島には3日間いる。	
102	行動	もういろんなことを学んだ。	
102	行動	お土産を買った。	(a souvenir)
102	行動	自分も千羽鶴を再生した粘土のことを聞いたことがない。	(the recycled paper cranes) (either)

以下は1年生の発話例です。2,3年生も同様です。

Sunshine 1年の登場人物たち			
授業でしゃべって、家でライティングノートに書いてみよう。			
真央			
ページ	カテゴリー	内容	発話例
0	姓名	姓(family name, last name)は古瀬	Mao's family name is Furuse.
0	国籍	日本	She is from Japan. / She is Japanese.
0	趣味	絵を描くこと	She likes to draw pictures very much. / Her hobby is drawing pictures.
0	性格	天真爛漫(形容詞innocent)	She is innocent. / She is an innocent girl.
24	居住地	日本。みらい市(Mirai City)出身ではない。	She is not from Mirai City.
25	立場	みらい中学校1年生。1-Bの生徒。	She is a first year student at Mirai Junior High School. / She is in 1-B.
32	特技	毎日絵を描く。	She draws pictures every day.
43	行動	Japanese dancer, EBIKENを知っている。	She knows the Japanese dancer, EBIKEN.
43	行動	盆踊りを踊れる(can do bon dance)。	She can do bon dance.
56	行動	ふだんは(usually)墨汁(bokuju)を使う。	She usually use bokuju.
64	行動	おじいさんは平日(on weekdays)道路に立つ。	Her grandfather stands on the street on weekdays.

*こちらの登場人物一覧表(解答付)は定期テスト1週間前に配布するなどします。生徒はこれを参考にしてライティングノートに書きます。

*進んでいる生徒 (advanced students) のために「発展編」を設けました。2,3 年生も同様。

Sunshine 1年の登場人物たち				
授業でしゃべって、家でライティングノートに書いてみよう。				
真央				
ページ	カテゴリー	内容	発話例	発展編
0	姓名	姓(family name, last name)は古瀬	Mao's family name is Furuse.	Mao's last name is Furuse.
0	国籍	日本	She is from Japan. / She is Japanese.	Her nationality is Japanese.
0	趣味	絵を描くこと	She likes to draw pictures very much. / Her hobby is drawing pictures.	One of her hobbies is drawing pictures.

3 家庭でのライティング活動

口で言えるようになった文を家庭学習で「ライティングノート」に書くように奨励します。全員一律の課題ではなく、また日々の宿題でもありません。各自のペースで書くように指示します。「言えたことをきちんと書けたらそれで英語力はついたことになります」と生徒を激励します。目安は月に 100 文です。長期休業を挟むときには+200 文とします。毎定期テスト直後にライティングノートを集めて進捗を確認して評価します。(例えば 1 学期中間テスト直後には [4 月分の 100 文], 1 学期期末テスト直後には [4, 5, 6 月分の 300 文], 2 学期中間テスト直後には [4, 5, 6, 7 月分の 400 文+夏休み分の 200 文=600 文] という具合です。) 私は提出時に規定の文数を書いていれば 30 点を「表現の能力」に加算しました。規定の数を大きく超える場合にはボーナス点として 10 点をさらに加算しました。提出期限に遅れたり、文の数が足りない場合は加点を 10~20 点にしました。

ライティングノートについて『英語授業の「幹」をつくる本 下巻』(北原延晃著 2010 年 ベネッセコーポレーション) 第 4 章 第 3 節「ライティングノート」から抜粋します。

1. ライティングノートとは?

全国あちこちで講演をしていて一番多く聞かれる質問の一つがライティングノートに関するものだ。この項で詳しくお話することにする。

1 年生のうちは徹底して音読に力を入れ、2 年生になる春休みからライティングに力を入れるようにする。まずは「ペアワークなどで言えるようになったことを書こう」を合いこばに専用のノートを準備させる。100 文書いたら先生のところに持ってきてシールをもらって自分で進度表に貼る。

1000 文を越えるとカンマ、ピリオド、クエスチョンマークなどの punctuation の誤りはな

くなり、1500文を越えると単語のスペリングミスもぐっと減ってくる。またオリジナルの文章を書き始めるようにもなる。先にあげた2005年度卒業学年（「わくわく授業」学年）は3年生秋までに全員2200文に到達した。

2009年度現任校の2年生は全員1500文に達しており、3年生の6月までに2800文を終了する予定である。量を書くことは効果的である。

以下は生徒用に説明したプリントである。

英語ライティングノート

目的： 口で言えるようになった英語を文字で書けるようにする。

方法： 授業のノートとは別にライティングノートを用意してそれに文を書いていく。

100文単位で北原先生に提出して検印とシールをもらい、進捗表（校長室廊下壁面）にシールを貼る。

期間： 3年1学期まで。

冬休みの宿題として全員最低200文を書く。

効果： これまでに習った文法事項、単語などが自然に復習できます。

定期テストで大きな力を発揮するでしょう。

提出日： 1月8日 この日までに**200**文が終わっているように。

1月からは毎月100文を目安に書く。春休み終了時に700文に達していること。

ただし、期日までに規定の文の数に達していて先生の検印をもらった生徒は提出しなくてけっこうです。

評価： 先生が決めた文の数（ヒミツ）に達した生徒に加点をします。

やり方： 1 *1 各自ノートを用意する。組・番号・名前を表紙に書く。

英語の文字がしっかり書ける人 → どんなノートでもよい

英語の文字がちゃんと書けない人 → 4線の英語ノート

2 各ページの左はじに1から通し番号をふる。

3 「スーパーペアワーク」で自分が言った英文を書いていく。まず基本文を書いて、次に単語を次々と変えて書いていく。

例 No.1を使って

1 Hello!

2 My name is Michael Jackson.

3 My name is Yumi Adachi.

4 My name is Nobuaki Kitahara. → 自分のこと

5 Nice to meet you.

No.2を使って

6 Hello.

7 What is your telephone number, please?

8 What is your telephone number, please? → 覚えにくい文は何回書いても

9 My telephone number is 1234-5678. よい。

10 My telephone number is xxx-xxxx. → 自分のこと

11 Thank you.

12 You are welcome.

.....
No.4 を使って

13 I am Michael Jackson.

14 I am Jackie Chan. → vocabulary の欄の単語を使って同じ文型を何度も

15 I am Ichiro Suzuki. 繰り返す。

No.19 を使って

16 Kenta likes Chinese food.

17 Yuiko likes Japanese food. → ペアワークシートに書かれている友達の

No.18 を使って 名前を使って、友達のことを書く。

18 Takuya goes to the park on Monday.

19 Ayaka plays basketball on Tuesday.

4 定期テスト前に教科書本文を見ないで書けるまで何度も書く。

5 「まずは 200 文」 始業式の日点検します。

6 その後は 100 文単位でたまったら先生に提出して検印をもらう。
先生からシールをもらって校長室壁面の進捗表に貼る。

7 シールの数は評価に入れます。(成績に 関係する)

その他：自分のノートです。きれいに書こう。「ただ書けばいい」というのではだめです。

*2 言いながら書く。書いたら再度音読して間違いがないかどうか確認しましょう。
かわいいイラストなど散りばめても OK。

先輩の見本が英語科室のロッカーの上にあります。

(註 *1 および*2 は筆者による追記)

*1 各自ノートを用意する → 浜島書店からライティングノートとして『ミキノート
(4 線, 基線)』が発売されています。

*2 言いながら書く → 音読筆写と言います。黙って書くより頭に入って効果的です。

4 定期テストでのライティング問題

私はこの登場人物一覧表を定期テストにも頻繁に出題していました。授業でのスピーキングでは多少の誤りもありますが、それを家に帰って文字起こすことで誤りに気づき、直す作業になります。このようにして fluency から accuracy へと指導の重点を移すことができます。『英語授業の「幹」をつくる本 テスト編』(北原延晃著 2012 年 ベネッセコーポレーション) 第 3 章 第 4 節「1 年 2 学期期末テスト」および第 5 節「1 年 3 学期学年末テスト」から抜粋します。

表現の能力 (教科書キャラクター描写)

6 例にならって教科書の登場人物を英語で紹介しなさい。何人取り上げても、いくつ文を書いてもいいですが同じ文型の文は1つだけです。正しい文1つにつき2点あげます。
(無制限取り放題)

例 This is Ken. His family name is Kato. He is from Japan. Daichi and Yuri are his friends in Okinawa. Ken plays the guitar.

Kumi, Ming, Emma, Ratna, Ms Miller, Paul, Daichi, Yuri

1学期からpicture cardsを使ってQ&Aをやっていたが、登場人物についてはTell me about ~. と問うて生徒に答えさせる活動を頻繁に行っている。生徒は素早く答えることになれてきたのでこの期末テストから出題してみた。この形式は2年生になっても使われた。ちなみに生徒が手元に持っているプリントの抜粋は以下の通りである。
(上巻 第8章 第3節「ピクチャーカードを使ったQ&A」p.186~190参照)

*この後に登場人物一覧表が続きますが、ここでは省略します。

表現の能力 (教科書キャラクター描写 2学期期末テストと同じ問題)

7 例にならって教科書の登場人物を英語で紹介しなさい。何人取り上げてもいいですが同じ文型の文は1つだけです。正しい文1つにつき2点あげます。(無制限取り放題)

例 This is Ken. His family name is Kato. He is from Japan. Daichi and Yuri are his friends in Okinawa. Ken plays the guitar.

Kumi, Wang Ming, Emma, Ratna, Ms Miller, Paul, Daichi, Yuri, Mary

2学期期末テストと同じ問題を再度出題した。前回にきちんと間違いを理解し、正しい書き方に取り組んだ生徒に得点を与えるためである。あらためて思うことだが、テストのもう一つの側面は学習への動機付けである。

前任校の生徒が1年生後期中間テストで書いた紹介文を下巻に掲載した。
(下巻 第6章 第2節「2. 自分の授業を振り返るための分析」p.129~131参照)

5 ライティングの成績

次の資料をご覧ください。これはある年の成績です。一つひとつ見ていきます。

①3年生2学期評定 評定1,2はゼロ。

私の英語教師人生で初めてでした。筆記試験が苦手な生徒も当然いましたが、パフォーマンステストでは全員が高評価だったため、こういう結果になりました。

②3年生学力調査結果

全国平均正答率との差 本校 79.0 全国 59.4 差+19.6

他の4教科は対全国差が-2.9から+5.0でした。英語が圧倒的です。これは毎年のことでした。

③2年生学力調査結果

観点別結果 (英語)

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化の知識・理解
+10.5	+24.2	+16.7	+19.1

「表現の能力」とはライティングです。他の技能(聞く, 読む)に比べて圧倒的に高い数値になっています。しかしこれは赤坂中だけではありません。30年近く前から私の教える学年は(どこの学校でも)同様の結果でした。「なぜライティングの数値だけがいつも圧倒的に高いのか」最初の頃は理由がよくわかりませんでした。これは「話せるようになったことを書く」という流れや「ジェスチャーで自然に英語の語順を覚えた」という指導の結果だとわかりました。

6 さあ始めよう!

英語の学力を上げるため(学力テストで好成績をあげるため)に1年生の時からやたら書かせてばかりいる先生がいますが、思ったほど成績は上がりません。それは「音声最優先」という法則を忘れているからです。生徒の頭の中に英語の回路ができていないうちはどんなに書かせてもだめです。当たり前の話ですが、話せないことは書けないのです。たくさんしゃべってそれを文字で書いて「脳に落とし込む」という勉強が必要です。